

こう障害者も働くんだオレたちも

# グレー・ホームとは

## — こぶしからの生活施設の方向 —

先日、こぶしお作業所の懇談会でも話題になつた、「グレー・ホーム」(行政の用語では「地域生活援助事業」といいます)について、今回のテーマにしようと思います。こぶしの会でも、このニュースがお手本に着くころには、グレー・ホームづくりへの具体的な動きができるかと思います。

グレー・ホームとは何ぞやと聞かれれば、「地域社会の中にある住宅(アパート・マンション・一戸建等)において数人の精神薄弱者が、一定の経済的負担を負つて共同で生活する形態であつて、同居、

うらふます。

さるに言うと、青年期以降の住まい(生活)の選択肢の一つだということです。

では、その住まいは、現在

じんなものがあるのでしょうか。

一つは、人所型の援護施設

少し特徴が見えてくると思

りますが、一つは、少規模であります

が定員)があります。さらに三年間という期限つきで、通勤寮があり、定員は二十名以

上、一般雇用が人所の条件と

ザッと横に並べてみると、

最後にテーマのグレー・ホ

ームですが、最初に述べたよ

うに、ある意味では援護施設とアパートや在宅の中間的な

色あいを持った生活の場へ施

設ではない」とえりうです。

最後にテーマのグレー・ホ

ームですが、最初に述べたよ

うに、ある意味では援護施設

とアパートや在宅の中間的な

色あいを持った生活の場へ施

設ではない」とえりうです。

また、永住できるこぶしの施設に、福祉ホームといふ制度もあり、やはり定員は二十度もあり、一度もありません。

の他、会社の寮や一般のアパート、そして在宅へ家族との同居がありますが、今回は

— 次回に続く —

へ戻るま

いとさん思ついたのです。

その後が短大卒業して一年後、いつまでもアルバイトでは仕方がないうで新しい職場を探していました。今は

七五歳父より、「柳田にこぶし作業所」という障害者の施設がある。とても人間的でやりがいのあるところだそうだ。

ボランティアに行きたいと思って、勧められたのがきっかけでした。丁度こぶしどりが催されるというので、どんな所か知るためにも行

きました。不安がなかつたわけではありません。「障害の施設に行くのもこれが初めてでした。不安がなかつたわけではありません。」「障害のある人に会つても、何も話しかけられなかつたり、キズつらうな行動をとつちやつたらどうしよう」ところが、

初めて会つた仲間たちは、私の気持ちを払拭するかのように、大声で歌いをし、騒ぎまくつている。こ

ちらから声をかけるより先に向こうから先に笑いかけてくる。後で所長に言つたように、彼らはとても純粋でした。

彼らのたくましさを少しずつ分けてもらひながら、私も仕事に励もうと思つています。

10年でも、50年でも、100年

上での世話をとどり、障害者が生活上困難な事柄に対応する、介助人がいるということです

あります。三つ目には、その

関係ないところの中で思つていました。といふより、正直に

いじさん思つていたのです。

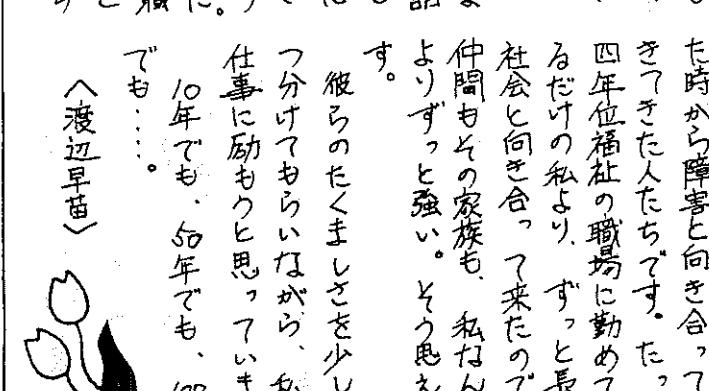
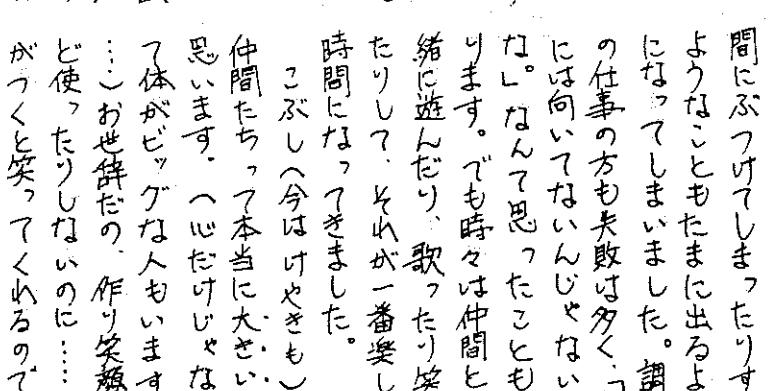
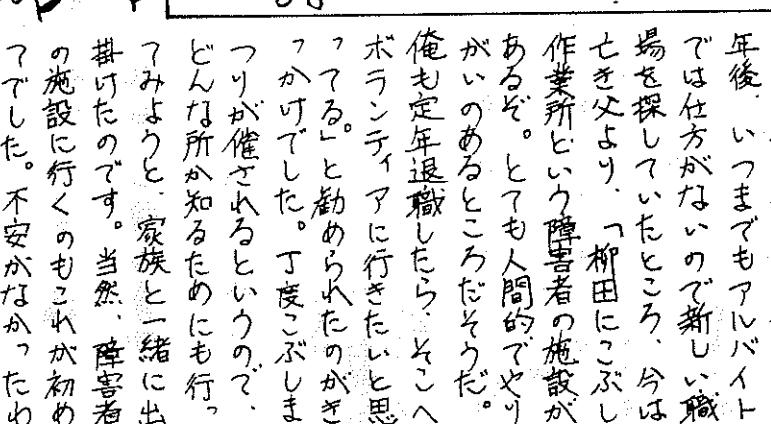
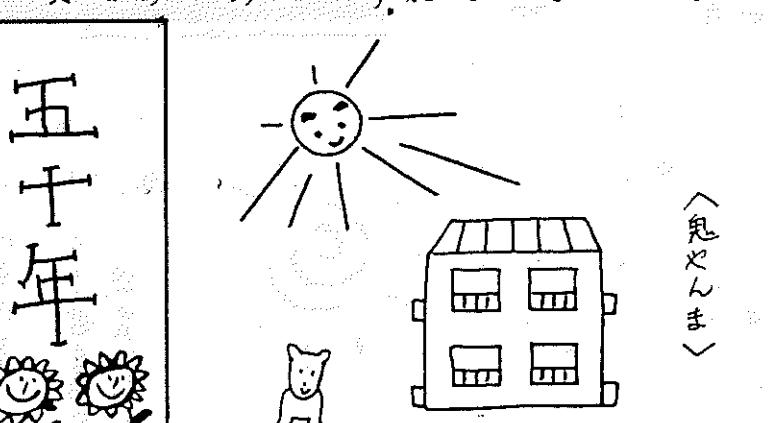
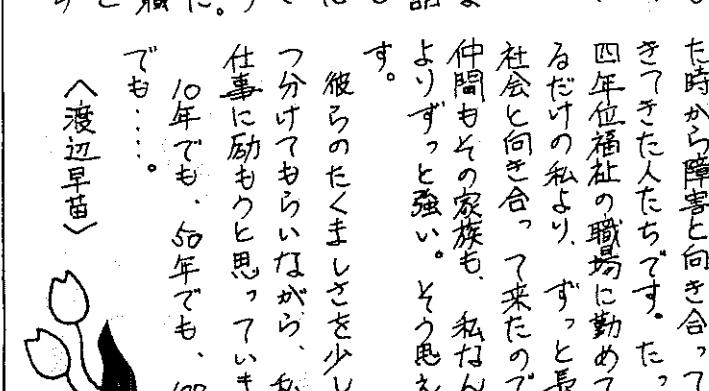
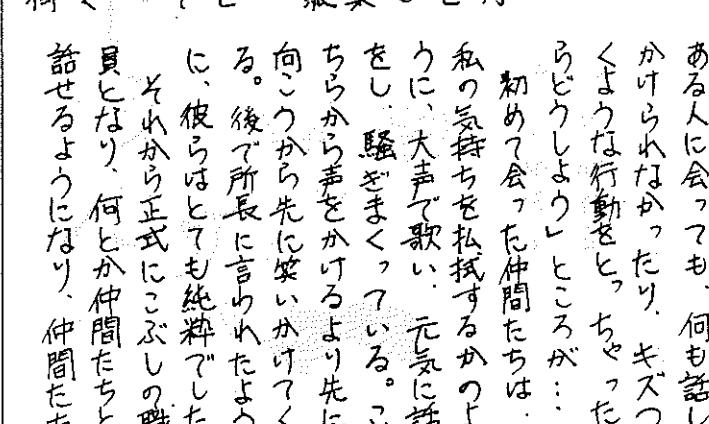
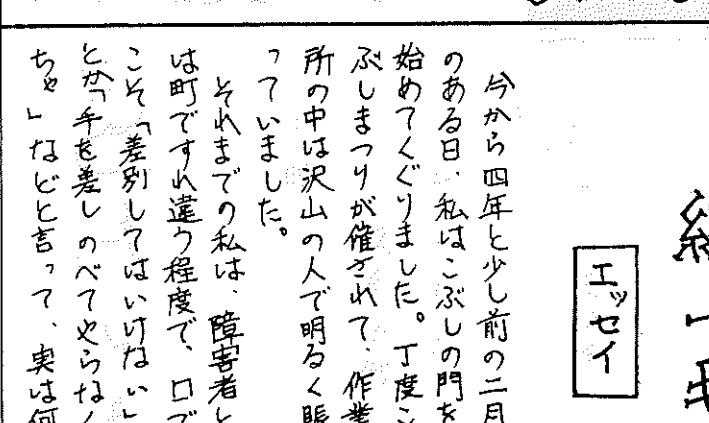
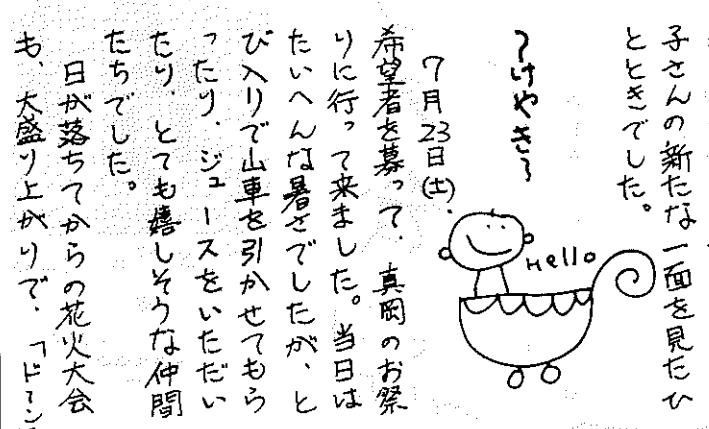
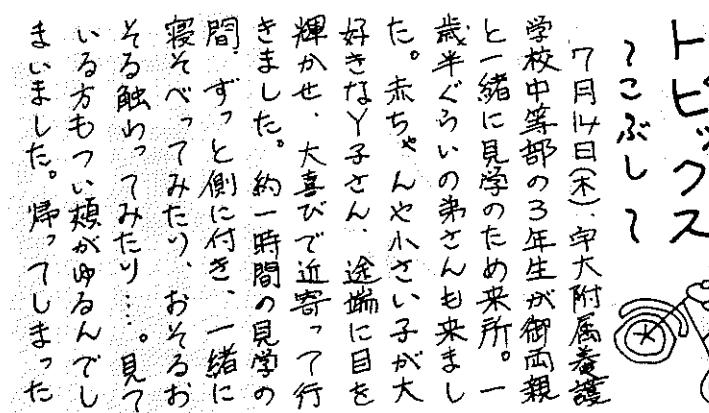
もわかつておらず、自分とはう職員の気持ちもわからようになつてしましました。

り考へて仲間への気づかいを

でも逆に、仕事の手順ばかり

たつたり、ついイライラを仲

間になつてしましました。



● 最優秀選手…野中隆司  
《チーム順位》  
1位 自力チーム  
(大橋義一)  
2位 野郎チーム  
(直井信也)  
3位 市内チーム  
(阿部仁美)  
4位 アマゾネスチーム  
(見目アイ子)  
5位 上三川チーム  
(岸直美)  
※( )内、チーム内のMVP.



● 第7回スポーツ大会が、6月26日に芳賀町トレーニングセンターで行なわれました。午後9時半過ぎからぼちぼちと集まり始め、10時から直井君の開会の言葉で開会式が始まりました。齊藤会長のあいさつ、準備体操に続いて、酒巻さんの元気ある選手宣誓で競技が始まりました。

最初の競技は、車イスを後ろ向きで操作する車イスリレードです。さすがにいつも車イスを使っている仲間は上手で、さすがにいつも車イスを使っていたが、慣れていない保護者は、うちにフラフラヒートップでした。どちらが大変でした。

最後に、車イスを後ろ向きで操作する車イスリレードです。さすがにいつも車イスを使っている仲間は上手で、さすがにいつも車イスを使っていたが、慣れていない保護者は、うちにフラフラヒートップでした。どちらが大変でした。

## スポーツ大会



鉄道建設は、こちらの説明不足で競技がうまく行なえず順位がつけられなくなり、失敗しました。玉入れは笛が鳴る前に玉を両手いっぱいに抱えて笛が鳴る同時に、いへんに投げる人や一個ずつ投げるなど様々でした。笛が古くこのかごの高さを調節するのが大変でした。

昼食をはさみ、午後の競技は作業体験競争から始まりました。風船の割れる音に驚く仲間やペアリングがなかなか入らず、苦労した保護者は、声援を送らねばならぬ張りついた。ゴロバレーでは、日に並び着ぐが大変でした。

● 開会式では、所長の講評、齊藤会長による表彰式、野中君の開会の言葉で幕を閉じました。

● 所では見らへない仲間の姿が見られました。

● 開会式では、所長の講評、

● 君の開会の言葉で幕を閉じま

した。

● 開会式では、所長の講評、

● 君の開会の言葉で幕を閉じ